



羽曳野の地に開院して約70年。大阪府立の病院として地域住民の命と健康を守ってきた、大阪はびきの医療センターの新病院がいよいよ5月にオープンします。

このページでは明るくきれいに生まれ変わった新病院をご紹介します。

<開院までのスケジュール(予定)>

- 4月16日(日) 13時～住民向け内覧会
- 5月6日(土) 移転
- 5月8日(月) 一般外来診療開始



詳細は病院  
ウェブサイト

2  
F

明るくて広いエントランスとワンフロア外来

●羽曳野の豊かな自然をイメージしたアースカラーを基調とした内装で大きな窓から光が入り大変明るいです。 ●外来診察室、検査、放射線、受付・会計をワンフロアに集約しました。また、Wi-Fiも利用できます。 ●糖尿病・内分泌内科や腎臓内科、心臓血管外科、歯科口腔外科を新たに開設します。



3  
F

幅広い高度専門・急性期医療の提供

- 高性能の画像診断装置を備えたハイブリッド手術室、手術用ロボット等高度な手術にも対応できる手術室を6室整備しました。
- CTやMRI、血管造影撮影装置、結石破碎装置など最新鋭の医療機器等を導入しました。

4  
・  
5  
F

きれいで清潔、快適な療養空間

- プライバシーに配慮した明るく清潔な病室です。
- 病棟デイルームや病室(個室)ではWi-Fiも利用できます。
- 6Fは晴れた日には大阪市内まで見渡せる眺めの良いレストラン、2Fはコンビニもあります。



「地域になくてはならない病院をめざして」

～大阪はびきの医療センターの山口誓司院長にお話を伺いました～

Q. 5月上旬のオープンまであと少しですが、新病院の特徴をお教えてください。

A. 現在の病院は約50年前に建てられたものですが、新病院はとにかく窓が大きく自然な光が入る、とても明るくきれいな病院です。もちろん、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、最新の医療機器も数多く整備しました。地域の皆さんの命と健康をしっかりと守れるよう職員一丸となって取り組んでいきたいですね。

Q. 新病院になって診療科は増えるのでしょうか？

A. 専門性の向上とともに一般診療科を強化することで地域の拠点病院として機能強化を図るため、泌尿器科や整形外科を新たに開設するなど診療機能の充実に取り組んできました。さらに幅広い分野で地域に貢献する、地域になくてはならない病院をめざして、糖尿病・内分泌内科など新たな診療科を開設します。地域のかかりつけ医の先生方にご相談のうえ受診していただければと思います。

Q. 新病院にはロボット支援手術システムを導入するそうですが、抱負をお聞かせください。

A. ロボット手術は従来の開腹手術と比べて安全で、より正確な手術が可能となり、患者さんの身体への負担が少なく入院期間も短縮されます。今回整備したロボットは、2人の医師が同時に手術を実施できる機能を有している機種で、より正確で迅速な手術に臨むことができます。私の専門である泌尿器科だけでなく、呼吸器外科、婦人科、消化器外科に広げていく予定です。また、エキスパート医が指導をしながら手術を行うことができるため若手医師の教育システムとしても非常に有用ですので、当センターから優秀な医師をどんどん育てていきたいですね。



大阪はびきの医療センター  
山口 誓司 院長

問合せ：大阪はびきの医療センター ☎ 072-957-2121